

2021年3月期 決算説明会

2021年5月19日

「建てる」を超え、未来を生みだす。



東急建設

2021年3月期決算

2021年3月期 決算説明会

事業環境

- 政府建設投資が堅調に推移する一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、民間企業では事業計画の縮小・変更の動きが一段と進み、民間建設投資が減少
- 建設コストは、建設資機材価格が上昇基調にあり、公共工事設計労務単価は、9年連続引き上げ

業績 (連結)

- 渋谷再開発など大型工事一巡に加え、コロナ禍による新規工事遅れにより減収
- 競争激化による利益率低下、一部工事や開発物件の収益悪化等により減益幅が拡大
売上高 : 231,483百万円 (前期比28.1%減)
営業利益 : 3,549百万円 (前期比82.5%減)
- 次年度以降の業績回復に向けた受注は堅調に推移し、大幅増加
受注高 : 320,916百万円 (前期比49.2%増)

財政状況等 (連結)

- 自己資本比率は前期末比2.5ポイント増加し、45.4%
- 資本効率向上および機動的な資本政策の遂行のため、自己株式取得を実施 (999百万円)

損益概況（連結）

大型工事の一巡や新規工事の遅れによる減収に加え、利益率が低下
一方、今後の業績回復に向けた受注は堅調に推移し大幅に増加

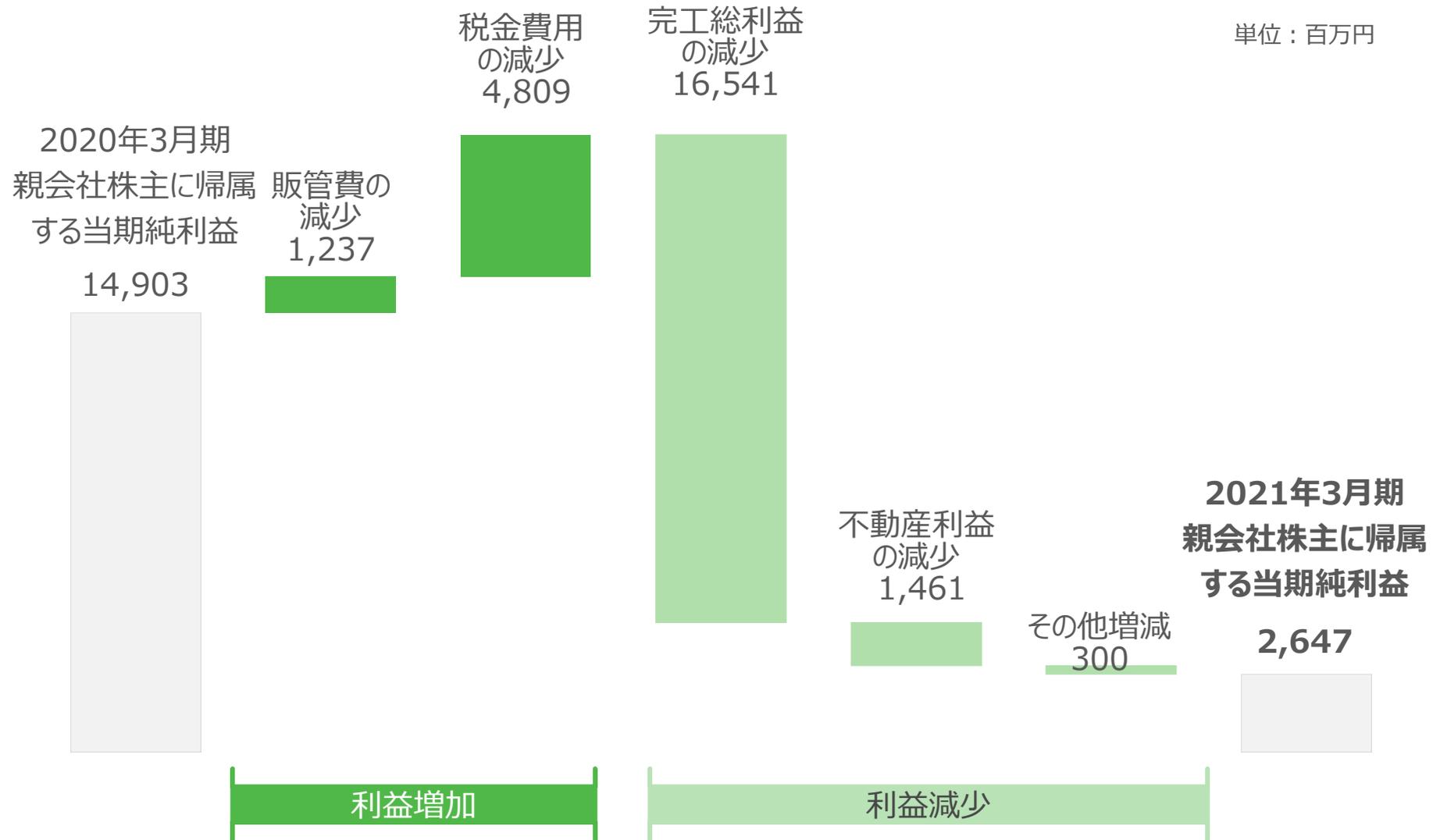
単位：百万円

科 目	2020年 3月期	比率	2021年 3月期	比率	対前年 増減	対前年 増減率
受注高	215,109	-	320,916	-	105,807	49.2%
売上高	322,170	-	231,483	-	△90,686	△28.1%
売上総利益	36,173	11.2%	18,170	7.8%	△18,003	△49.8%
販売費及び一般管理費	15,858	4.9%	14,620	6.3%	△1,237	△7.8%
営業利益	20,315	6.3%	3,549	1.5%	△16,766	△82.5%
経常利益	21,969	6.8%	4,891	2.1%	△17,077	△77.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,903	4.6%	2,647	1.1%	△12,256	△82.2%
ROE	15.4%	-	2.6%	-	△12.8Pt	-

当期純利益の増減要素（連結）



完成工事総利益と不動産事業等総利益の減少により、当期純利益が大幅に減少



損益概況（個別）

土木、建築事業の完成工事高、完成工事総利益がともに大きく減少
 不動産事業は過年度から取り組む大型開発物件の収益悪化が利益を圧迫

単位：百万円

科 目	2020年 3月期	2021年3月期		対前年 増減	増減率
		決算	比率		
完成工事高	295,034	214,560	(100%)	△80,473	△27.3%
土木	88,078	75,568	35.2%	△12,509	△14.2%
建築	206,956	138,991	64.8%	△67,964	△32.8%
完成工事総利益	32,935	17,854	8.3%	△15,081	△45.8%
土木	8,218	6,031	8.0%	△2,186	△26.6%
建築	24,717	11,822	8.5%	△12,895	△52.2%
不動産事業等売上高	1,391	1,684	-	292	21.0%
不動産事業等総利益	151	△1,336	△79.4%	△1,488	△980.4%
売上高	296,426	216,245	-	△80,181	△27.0%
売上総利益	33,087	16,517	7.6%	△16,570	△50.1%
販売費及び一般管理費	15,304	14,043	6.5%	△1,261	△8.2%
営業利益	17,782	2,474	1.1%	△15,308	△86.1%
経常利益	18,140	3,054	1.4%	△15,086	△83.2%
当期純利益	12,190	1,262	0.6%	△10,928	△89.6%

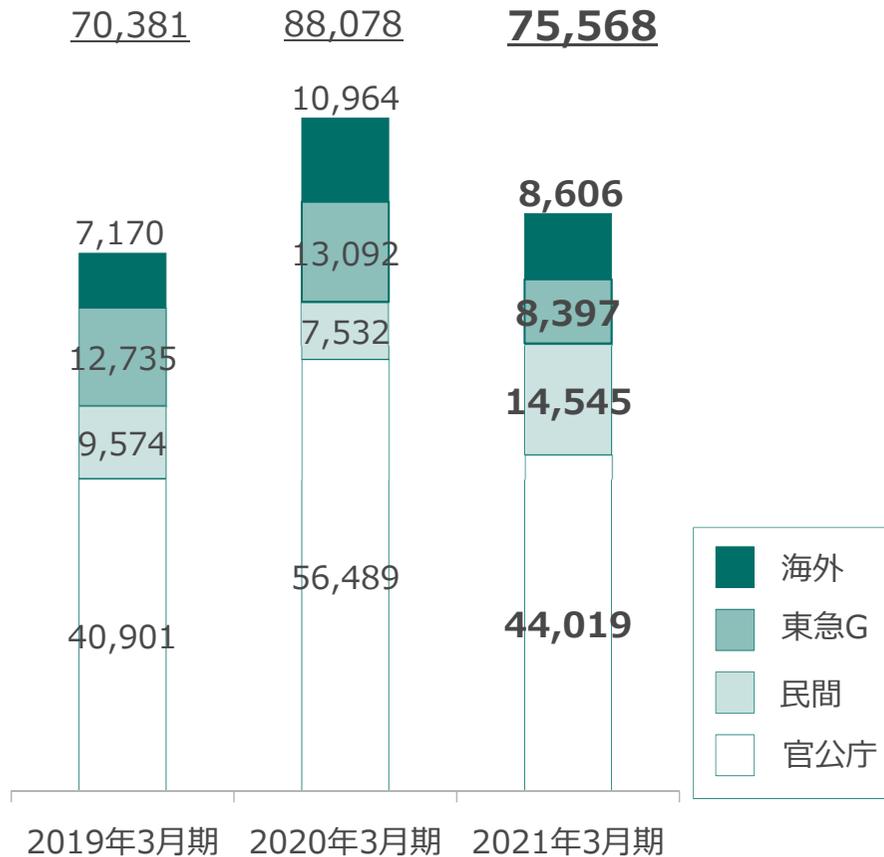
完成工事高・完工総利益（個別／土木）

完工高：官公庁大型工事の反動減とコロナ禍による東急Gの減少により減収

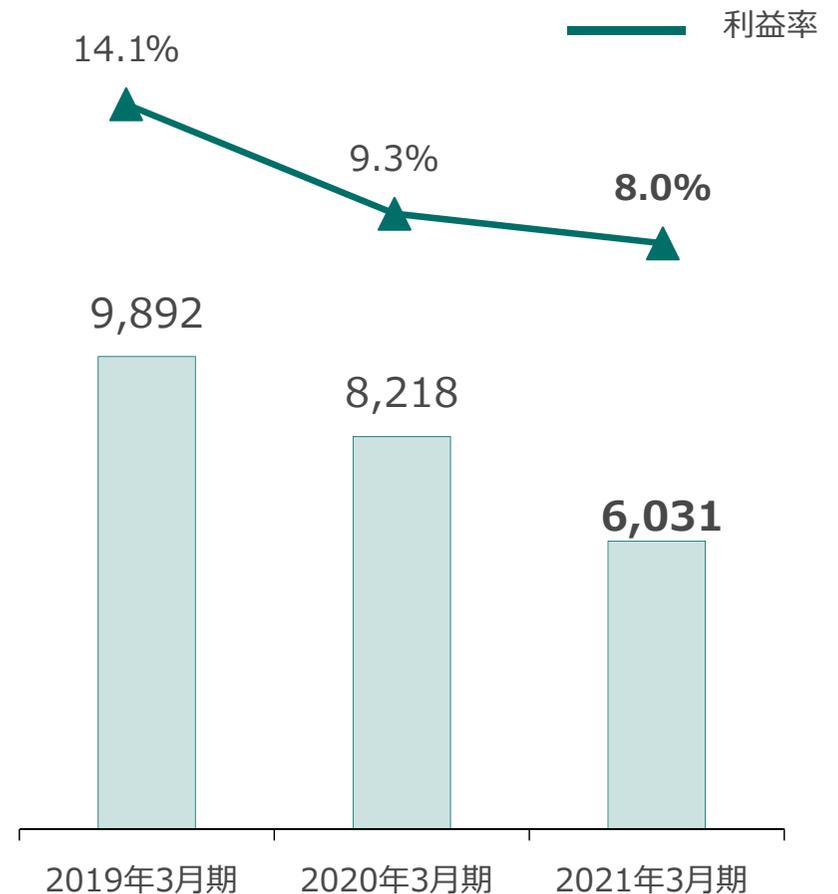
総利益：完成予定工事の期ズレに加えて、一部工事の収益悪化により減益

単位：百万円

完成工事高



完成工事総利益

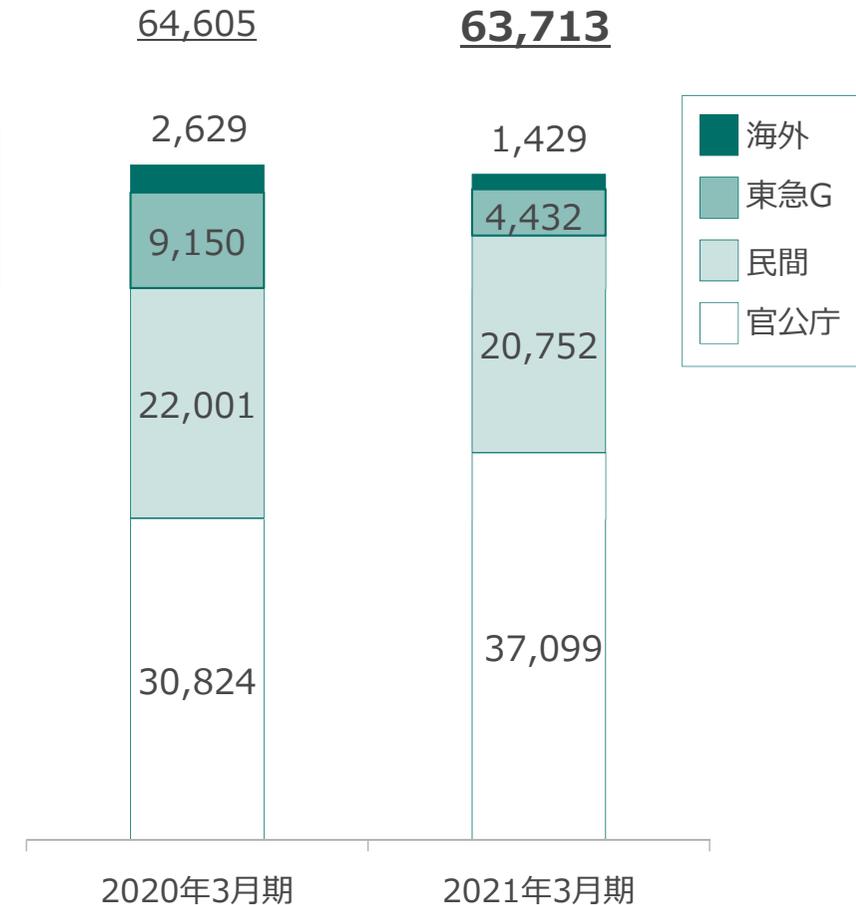


受注高（個別／土木）

コロナ禍により東急Gは半減も、国内官公庁が増加し前期並みを確保
海外はミャンマーの政変により、大型ODA案件の出件が見送り

単位：百万円

		2020年 3月期	2021年 3月期	対前年 増減	増減率
土	国内官公庁	30,824	37,099	6,274	20.4%
	国内民間	31,151	25,184	△5,967	△19.2%
	内、一般民間	22,001	20,752	△1,248	△5.7%
	内、東急グループ	9,150	4,432	△4,718	△51.6%
木	海外	2,629	1,429	△1,199	△45.6%
		64,605	63,713	△892	△1.4%

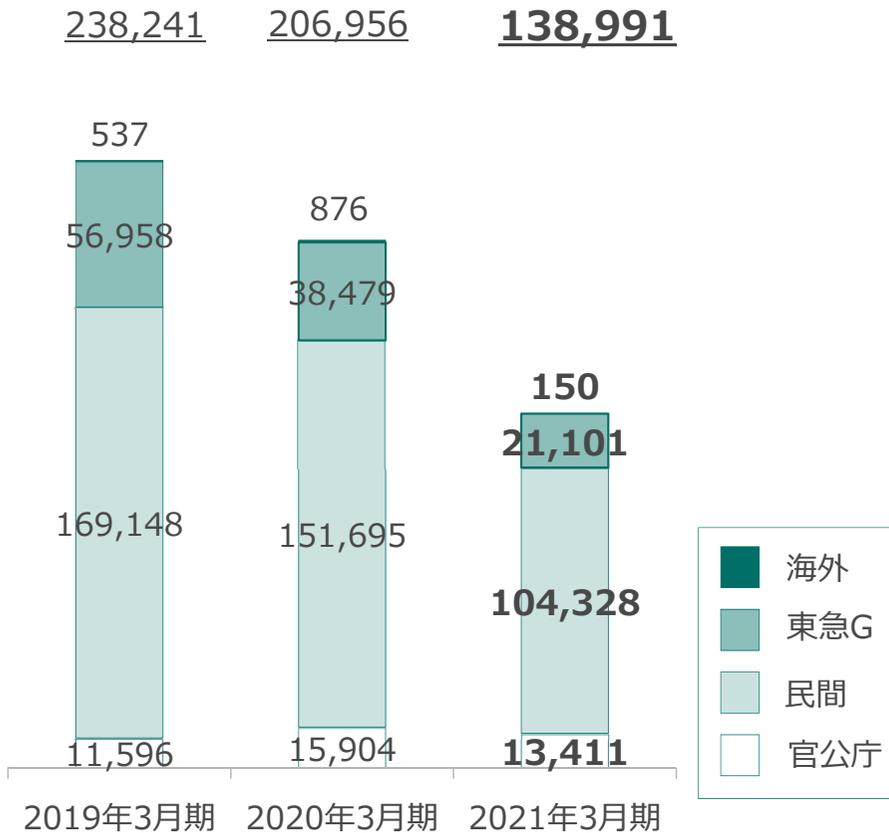


完成工事高・完工総利益（個別／建築）

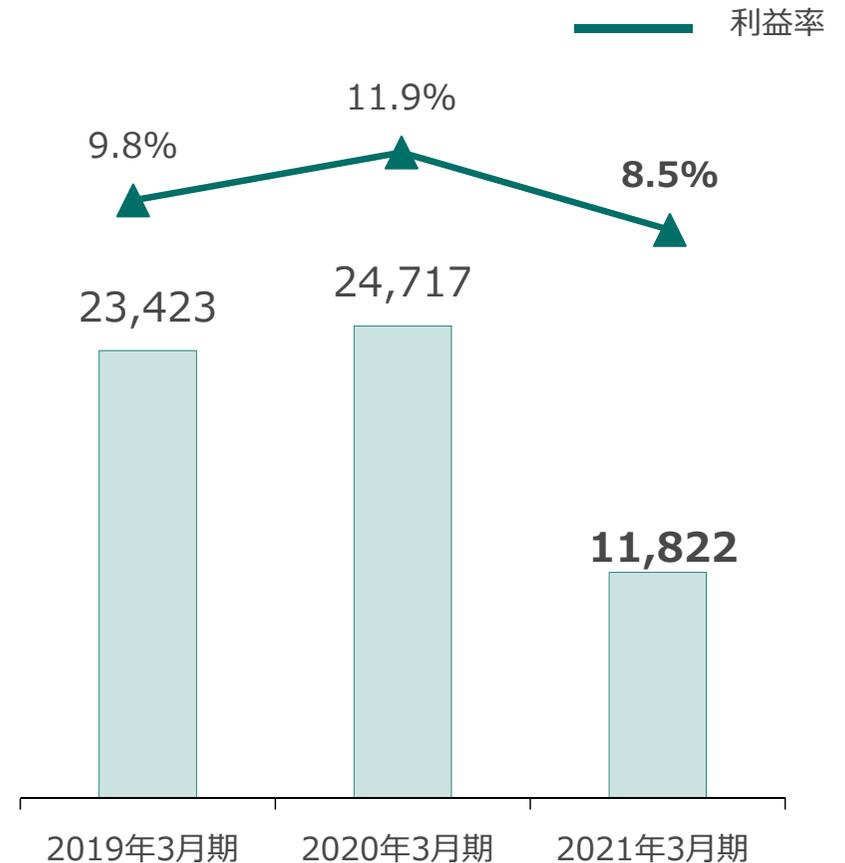
完工高：大型工事の一巡に加え、コロナ禍による新規工事の遅れにより減収
総利益：前期の大型工事利益の剥落と、競争激化による利益率の低下で減益

単位：百万円

完成工事高



完成工事総利益

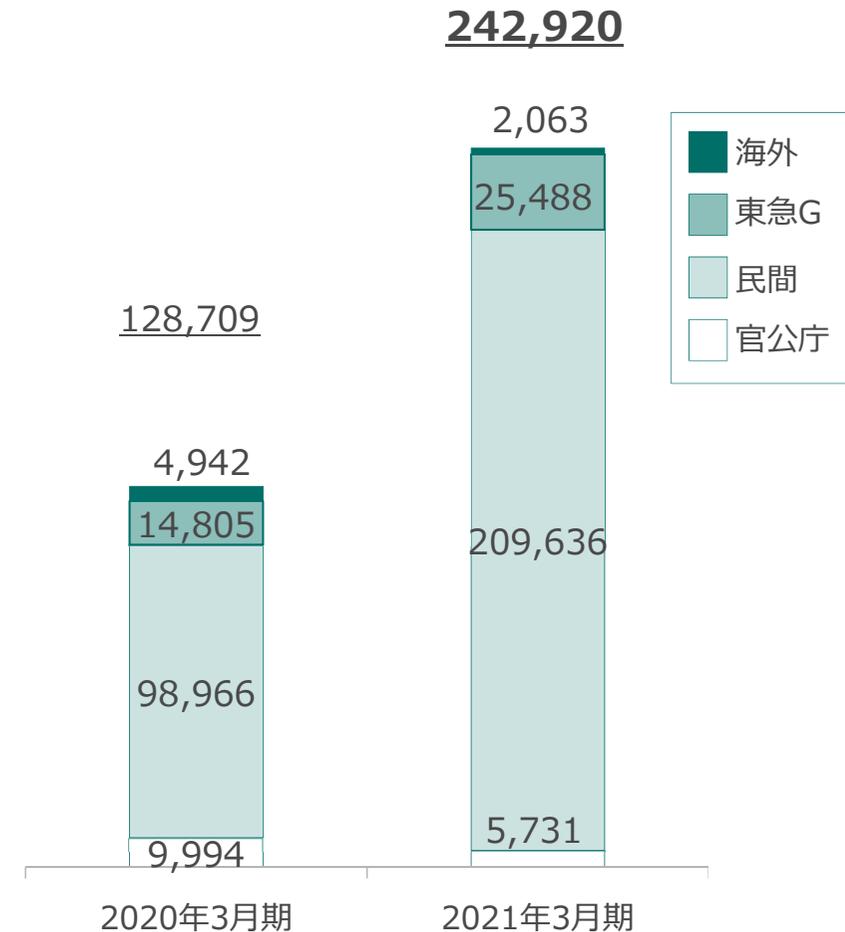


受注高（個別／建築）

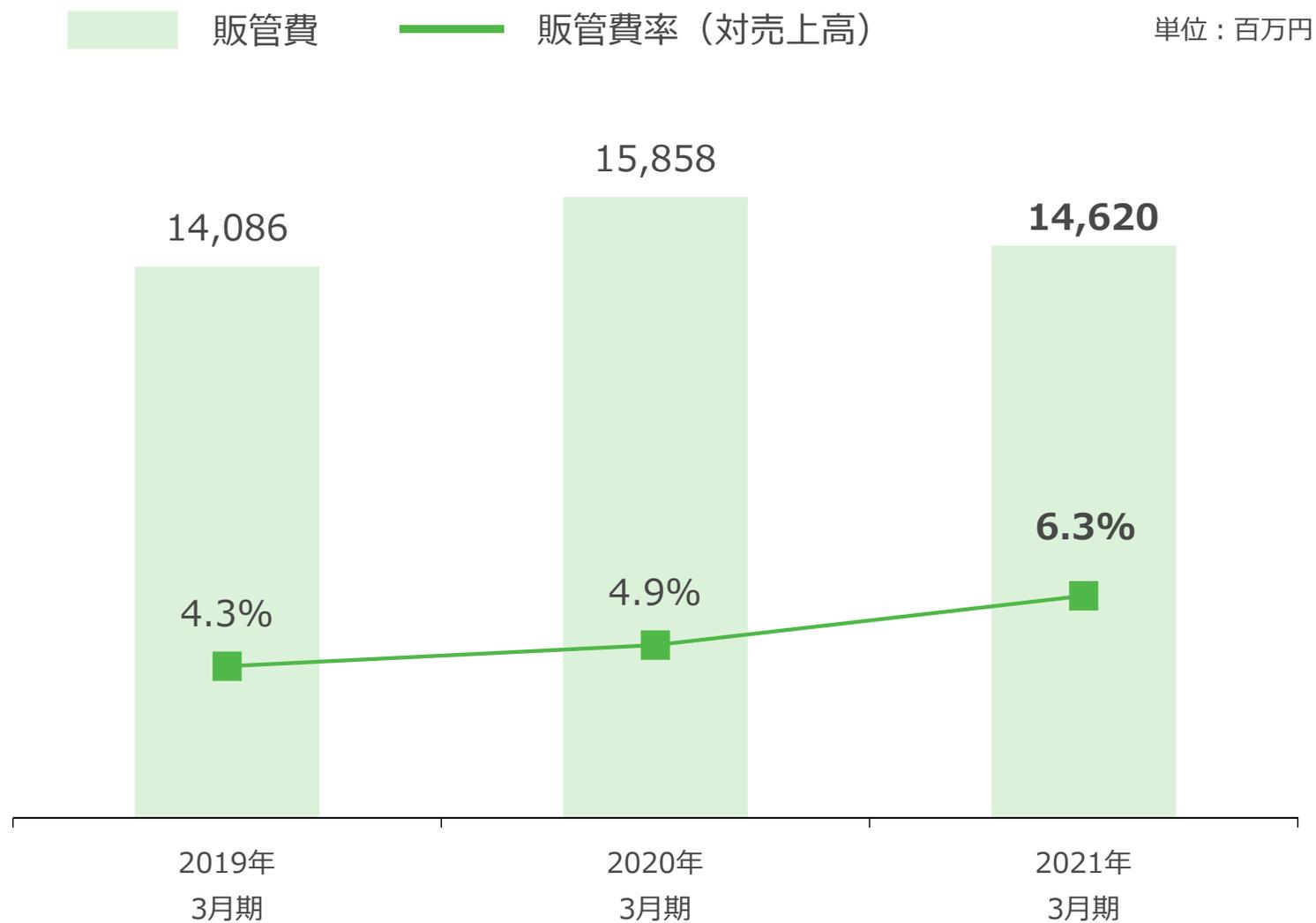
複数の大型物流倉庫、沿線再開発、環境配慮建築（ZEB等）などを受注
前期からの期ズレもあり大幅反動増

単位：百万円

		2020年 3月期	2021年 3月期	対前年 増減	増減率
建	国内官公庁	9,994	5,731	△4,262	△42.6%
	国内民間	113,772	235,125	121,352	106.7%
	内、一般民間	98,966	209,636	110,669	111.8%
	内、東急グループ	14,805	25,488	10,682	72.1%
築	海外	4,942	2,063	△2,879	△58.3%
		128,709	242,920	114,210	88.7%

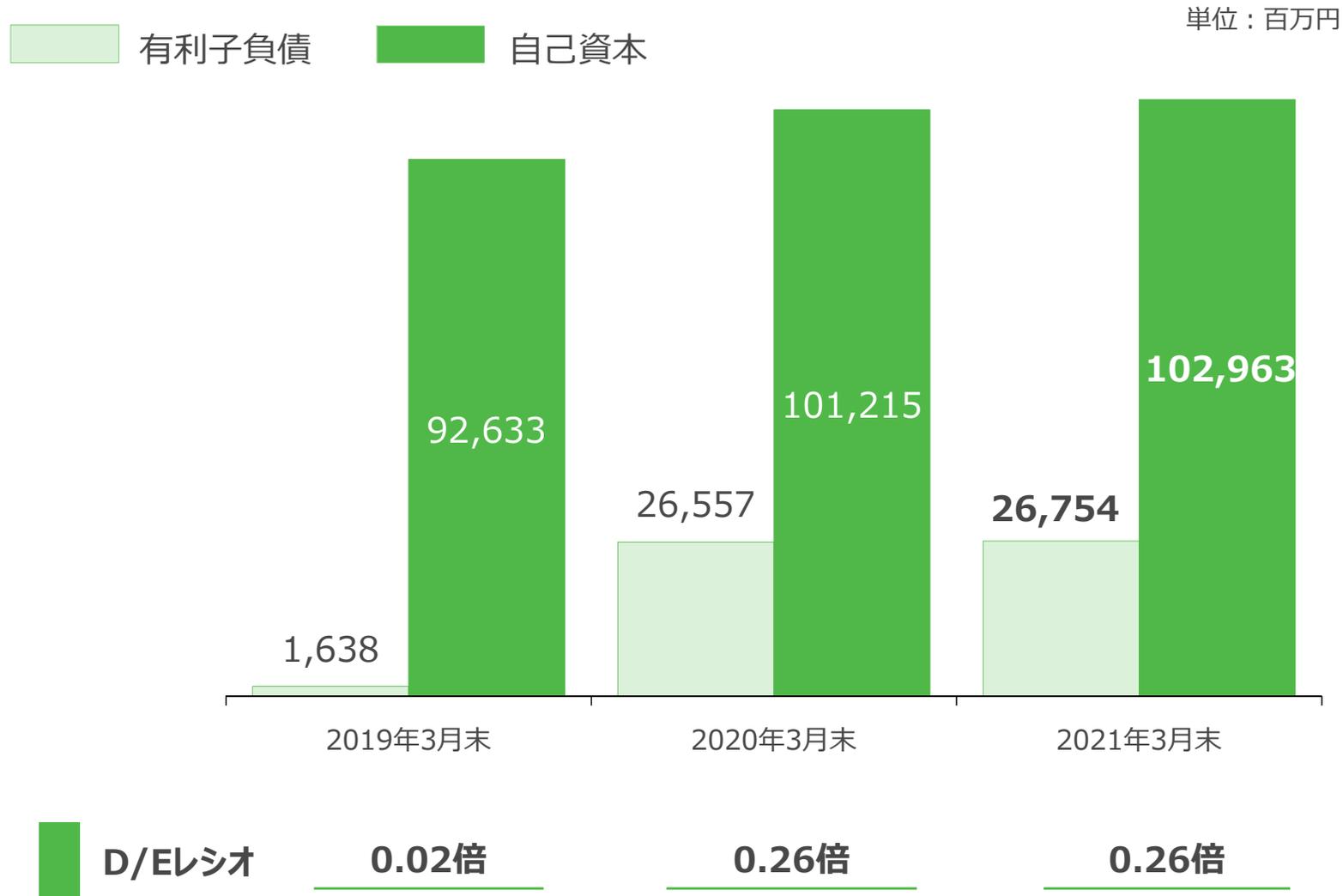


コロナ禍における経費節減努力により販管費が減少



有利子負債と自己資本、D/Eレシオ（連結）

D/Eレシオは0.26倍で前期と同水準



前期末の多額の売上債権が減少したことにより、営業CFが増加し、フリーキャッシュフローが78億円に改善

単位：百万円

科目	2020年 3月期	2021年 3月期	2021年3月期の概況
営業活動によるCF	△33,439	11,629	税金等調整前当期純利益の計上、売上債権減少等の資金増加 など
投資活動によるCF	△7,488	△ 3,753	固定資産取得、子会社株式取得 など
フリーキャッシュフロー	△40,928	7,875	—
財務活動によるCF	21,604	△ 3,308	配当金支払、自己株式取得 など
現金及び現金同等物に係る換算差額	△270	56	—
現金及び現金同等物の期首残高	49,145	29,549	—
現金及び現金同等物の期末残高	29,549	34,173	—

VISION2030

長期経営計画 “To zero, from zero.”

2021年3月期 決算説明会

2021年5月12日に開示した

「VISION2030・長期経営計画 “To zero, from zero.”」

をご参照ください

<https://pdf.irpocket.com/C1720/eq9A/eSqS/qlbf.pdf>

2022年3月期業績予想

2021年3月期 決算説明会

損益予想（連結）

前期の受注獲得により売上高が増加

売上総利益率は0.5ポイント改善し、営業利益は70億円を見込む

単位：百万円

科 目	2021年 3月期	比率	2022年 3月期 (予想)	比率	対前年 増減	対前年 増減率
売上高	231,483	-	285,000	-	53,516	23.1%
売上総利益	18,170	7.8%	23,700	8.3%	5,529	30.4%
販売費及び一般管理費	14,620	6.3%	16,700	5.9%	2,079	14.2%
営業利益	3,549	1.5%	7,000	2.5%	3,450	97.2%
経常利益	4,891	2.1%	7,300	2.6%	2,408	49.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,647	1.1%	4,800	1.7%	2,152	81.3%

損益予想（個別）

建築の完成工事高の増加により売上高が増加

完成工事総利益の増加と不動産事業等総利益の回復で営業利益は57億円を見込む

単位：百万円

科 目	2021年 3月期	2022年3月期		対前年 増減	増減率
		予想	比率		
完成工事高	214,560	265,300	(100%)	50,739	23.6%
土木	75,568	69,800	26.3%	△5,768	△7.6%
建築	138,991	195,500	73.7%	56,508	40.7%
完成工事総利益	17,854	20,800	7.8%	2,945	16.5%
土木	6,031	6,900	9.9%	868	14.4%
建築	11,822	13,900	7.1%	2,077	17.6%
不動産事業等売上高	1,684	1,700	-	15	0.9%
不動産事業等総利益	△1,336	800	47.1%	2,136	-
売上高	216,245	267,000	-	50,754	23.5%
売上総利益	16,517	21,600	8.1%	5,082	30.8%
販売費及び一般管理費	14,043	15,900	6.0%	1,856	13.2%
営業利益	2,474	5,700	2.1%	3,225	130.4%
経常利益	3,054	5,900	2.2%	2,845	93.2%
当期純利益	1,262	3,900	1.5%	2,637	208.8%

受注高予想（個別）

土木：東急Gが増加するものの、官公庁と一般民間は減少を見込む

建築：官公庁と東急Gが増加するものの、一般民間は前期大幅増の反動により減少

単位：百万円

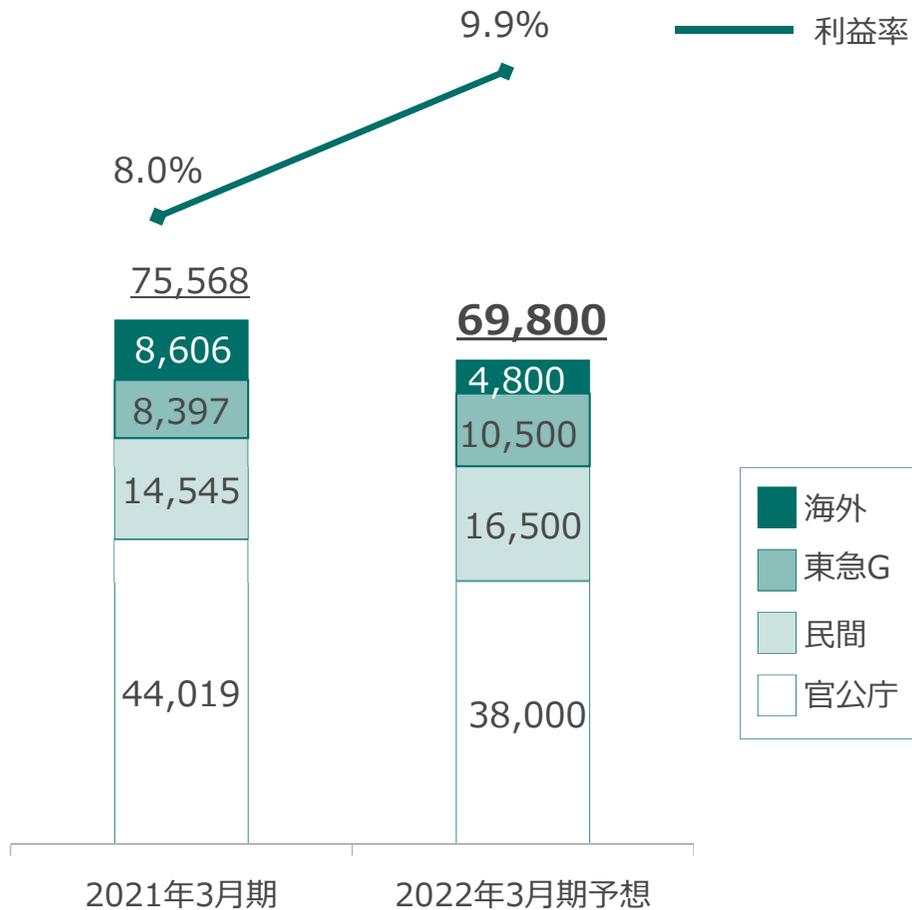
		2021年3月期	2022年3月期 (予想)	対前年 増減	増減
土 木	国内官公庁	37,099	32,000	△5,099	△13.7%
	国内民間	25,184	23,000	△2,184	△8.7%
	内、一般民間	20,752	13,000	△7,752	△37.4%
	内、東急グループ	4,432	10,000	5,567	125.6%
	海外	1,429	2,000	570	39.9%
		63,713	57,000	△6,713	△10.5%
建 築	国内官公庁	5,731	18,000	12,268	214.0%
	国内民間	235,125	180,000	△55,125	△23.4%
	内、一般民間	209,636	150,000	△59,636	△28.4%
	内、東急グループ	25,488	30,000	4,511	17.7%
	海外	2,063	2,000	△63	△3.1%
		242,920	200,000	△42,920	△17.7%
建設計		306,633	257,000	△49,633	△16.2%

損益・受注高予想（個別／土木）

前期の収益悪化が解消し、完工総利益の改善を見込む

単位：百万円

完成工事高・完工総利益



受注高



【繰越工事高】

	2021年3月期	2022年3月期予想
期首繰越高	118,531	106,676
受注高	63,713	57,000
完成工事高	75,568	69,800
次期繰越高	106,676	93,876

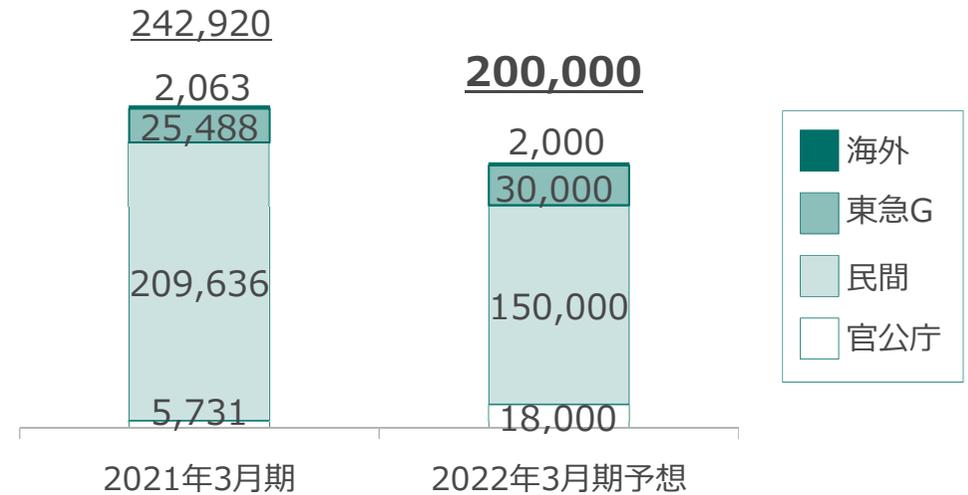
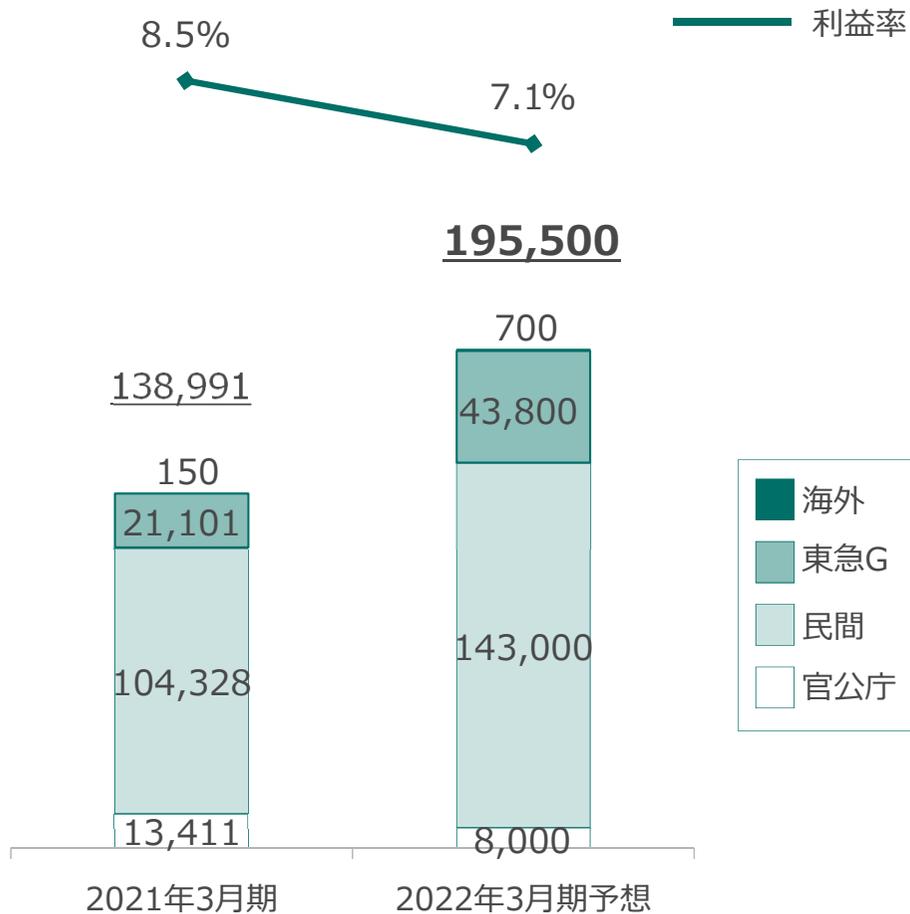
損益・受注高予想（個別／建築）

前期の受注増により、完成工事高は大幅な増加を見込む
 一方、競争激化と建設コストの上昇などにより、完工総利益率は低下

単位：百万円

完成工事高・完工総利益

受注高

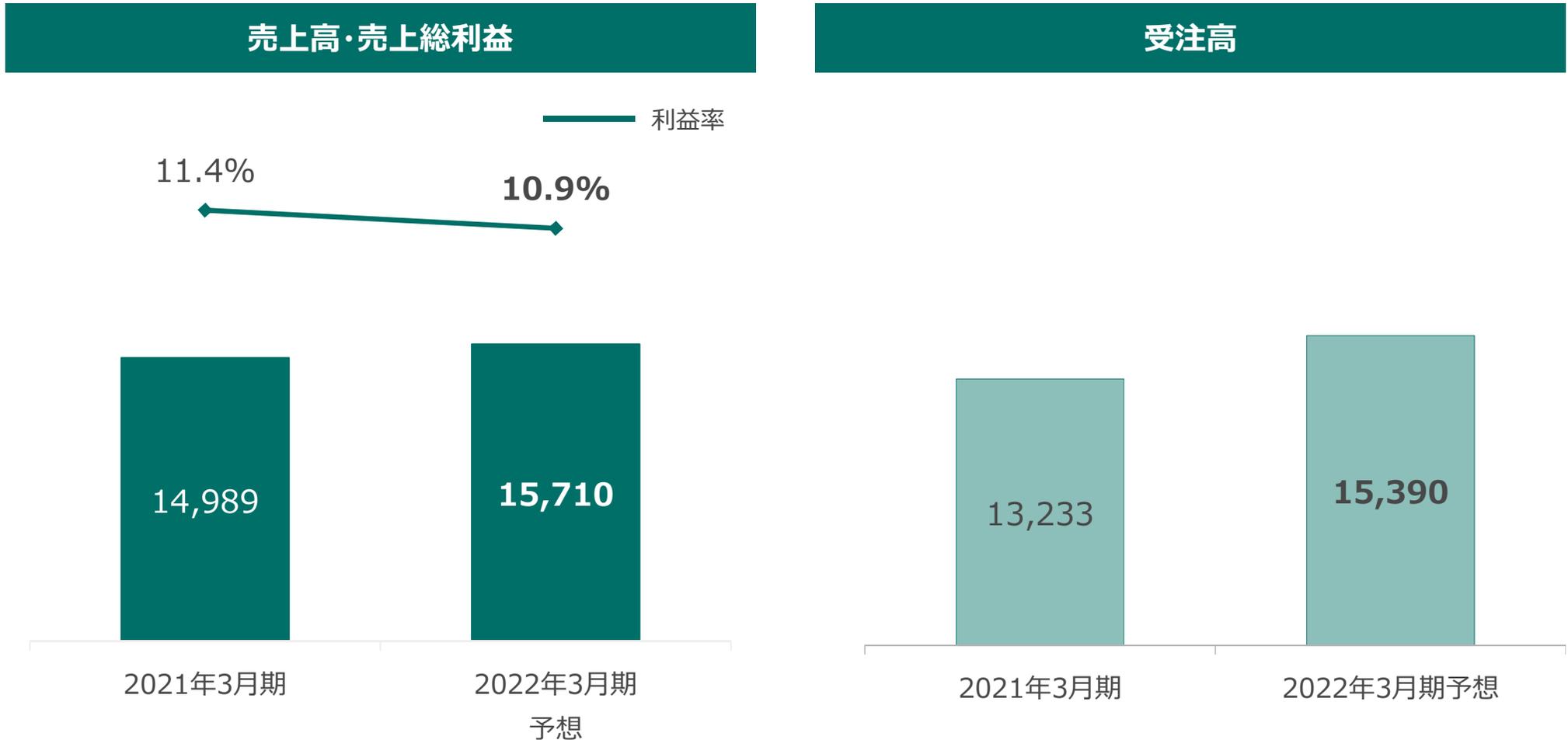


【繰越工事高】	2021年3月期	2022年3月期予想
期首繰越高	133,007	236,935
受注高	242,920	200,000
完成工事高	138,991	195,500
次期繰越高	236,935	241,435

売上高・売上総利益率予想（建築リニューアル）

建築リニューアル事業は、売上高・受注高ともに前期からの回復を見込むが、コロナ禍の影響継続を見込まざるを得ず、回復は限定的と想定

単位：百万円



※建築リニューアル事業は、同事業を行う子会社の東急リニューアル・東建産業の数値を単純合計したもので相殺消去は考慮しておりません。

売上高・売上総利益率予想（国際・不動産）

国際事業：ミャンマー情勢の不透明化により改善は限定的

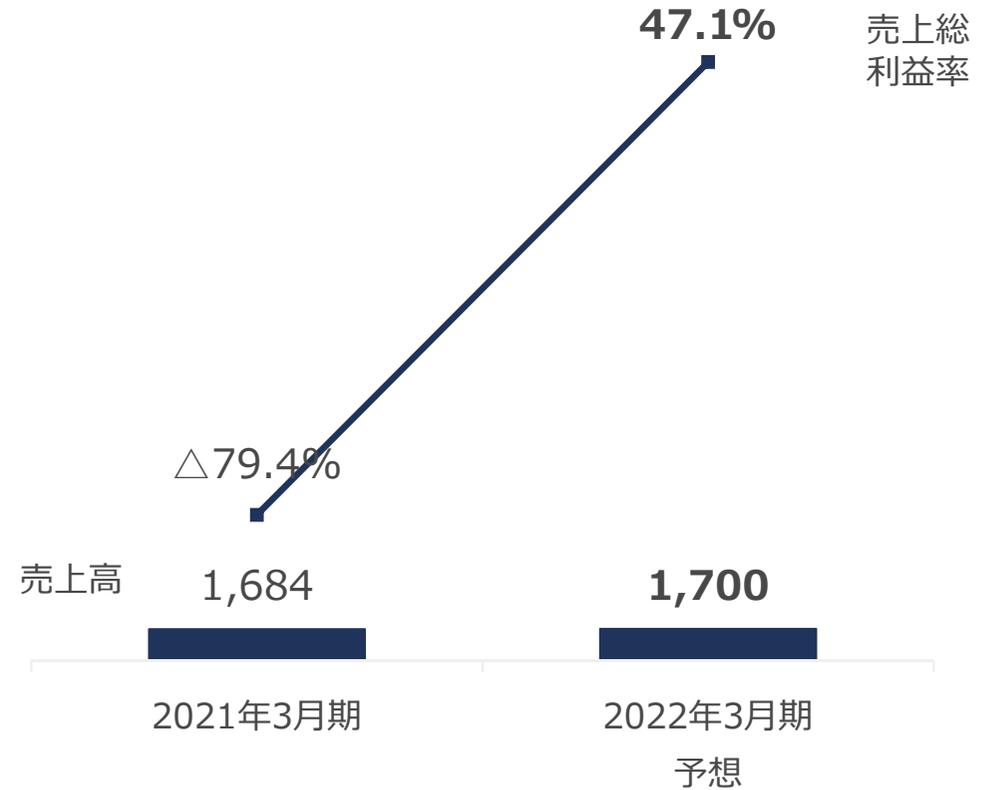
不動産事業等：開発物件の前期収益悪化影響が解消し利益率が改善の見込み

単位：百万円

国際事業



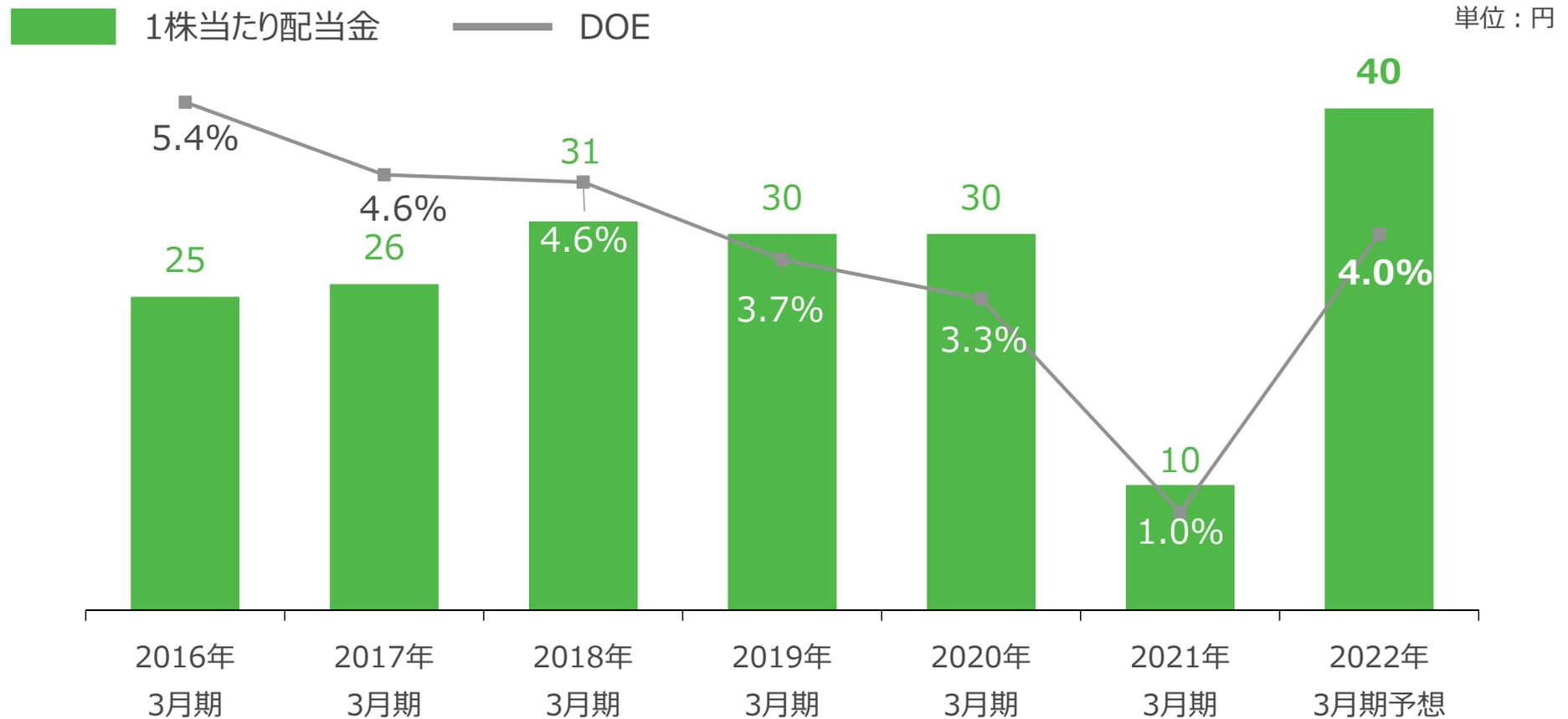
不動産事業



※国際事業は、当社個別の国際事業に海外子会社2社（TCIとGTC）の数値を単純合計したもので相殺消去は考慮していません。
 TCI：トウキョウコンストラクション・インドネシア、GTC：ゴールデン・トウキョウ・コンストラクション（ミャンマー）
 ※不動産事業は、当社個別損益計算書の不動産事業等売上高、売上総利益の数値。

配当予定

自己資本配当率（DOE）4.0%以上を目標とし、短期的な利益のボラティリティにも左右されにくい安定的かつ継続的な配当を実施



<自己株式取得>

2021年3月期に取得した株式の総数：1,965,100株（取得価額の総額：999,976,175円）

「建てる」を超え、
未来を生みだす。



東急建設

【お問い合わせ先】

経営戦略本部 経営企画部 西田／森田

TEL 03-5466-5008

URL webmaster@tokyu-cnst.co.jp